

Ⅲ 看護職員需要施設実態調査

1. 調査概要

- 1) 目的：本調査は、新潟県内に住所を有する看護職員の需要施設の実態を調査し、需要施設の充足を図るとともに未就業看護職員の就業を促進することを目的とする。
- 2) 調査対象：新潟県内に住所を有する病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問看護ステーション、診療所（ただし歯科診療所を除く）1,869施設
- 3) 調査期間：令和4年8月15日～9月16日
- 4) 調査方法：調査対象施設に調査票の配布、調査票による紙面回答またはWeb回答

2. 調査結果

1) 施設別の回答状況

- ・調査対象の1,869施設のうち、回答数642施設、回答率34.3%であった。
- ・施設別の回答状況では、「病院(200～399床)」が85.3%で最も多く、次いで「病院(199床以下)」77.1%、「訪問看護ステーション」69.0%、「病院(400床以上)」68.8%の順であった。

	病院(199床以下)	病院(200～399床)	病院(400床以上)	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	訪問看護ステーション	合計
調査対象施設数	70	34	16	1,191	96	291	171	1,869
回答施設数	54	29	11	305	24	101	118	642
回答率	77.1%	85.3%	68.8%	25.6%	25.0%	34.7%	69.0%	34.3%

2) 看護職員の充足状況

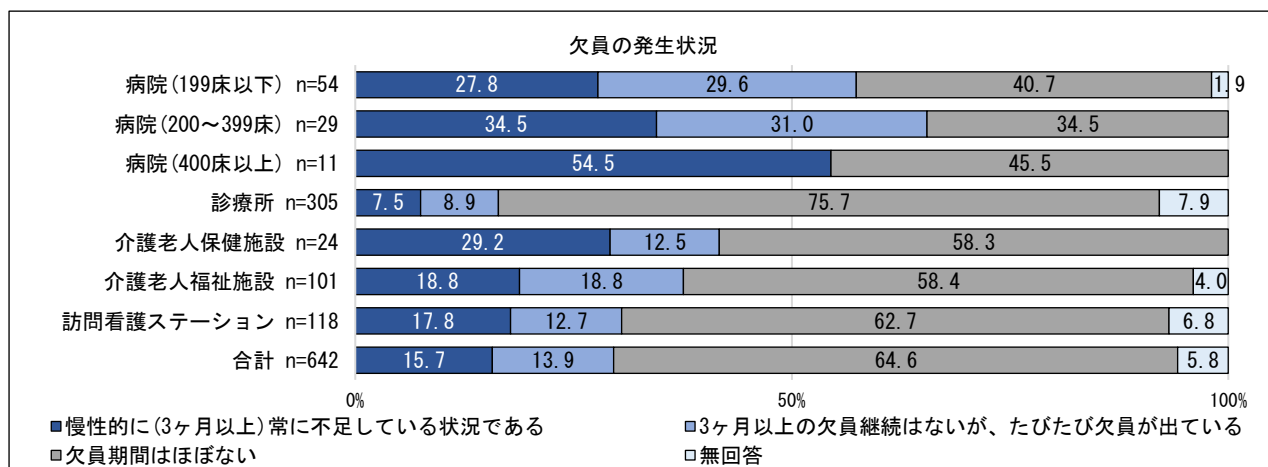
(1) 看護職員の欠員数および不足率(常勤換算のパート含む)※「不足率」=欠員数/(在籍数+欠員数)

- ・看護職員の欠員数による不足率は、介護老人福祉施設で5.6%と最も高く、次いで介護老人保健施設4.7%、訪問看護ステーション4.2%の順であった。
- ・病床規模にかかわらず約5割以上の病院が「欠員がある」と回答した。
- ・診療所では、「欠員がある」と回答した施設は305施設中29施設(9.5%)であった。

	在籍数(人)	欠員数(人)	不足率	欠員があると回答した施設数	
病院(199床以下) n=54	4414.5	103.54	2.3%	27	50.0%
病院(200～399床) n=29	4949.9	152.5	3.0%	17	58.6%
病院(400床以上) n=11	4890.8	107	2.1%	5	45.5%
診療所 n=305	1091.2	39.3	3.5%	29	9.5%
介護老人保健施設 n=24	297.1	14.5	4.7%	9	37.5%
介護老人福祉施設 n=101	568.5	33.5	5.6%	25	24.8%
訪問看護ステーション n=118	701.7	30.5	4.2%	17	14.4%
合計 n=642	16918.6	480.8	2.8%	129	20.1%

(2) 欠員期間の発生状況について

- ・「慢性的に(3ヶ月以上)常に不足している状況である」と「3ヶ月以上の欠員継続はないが、たびたび欠員が出ている」の回答を合わせると、病院では病床規模にかかわらず5割以上の施設で回答があった。
- ・診療所では、7割以上が「欠員期間はほぼない」と回答した。



(3) 欠員が発生する理由(自由記載)

- ・欠員が発生する理由について聞いたところ、「産休・育休」や「育休明けの短時間勤務・夜勤免除」等の意見が最も多く、次いで「病休・体調不良」、その他「地域性」や「人件費の問題」、「本人の希望条件とのミスマッチ」などの意見があった。

3) 令和3年度の採用状況について(新卒・既卒別)

- ・令和3年度の採用者数について、新卒・既卒別でみると、病院(200~399床)と病院(400床以上)では、新卒の採用者数が既卒よりも多かった。
- ・病院(199床以下)、診療所、介護老人福祉施設、訪問看護ステーションでは、既卒の採用者数が多く、介護老人保健施設では、新卒者の採用はなかった。

	新卒の採用者数	既卒の採用者数	合計
病院(199床以下) n=54	167	270.6	437.6
	38.2%	61.8%	100%
病院(200~399床) n=29	239	208.6	447.6
	53.4%	46.6%	100%
病院(400床以上) n=11	260	137	397
	65.5%	34.5%	100%
診療所 n=305	19.5	127	146.5
	13.3%	86.7%	100%
介護老人保健施設 n=24	0	36	36
	0%	100%	100%
介護老人福祉施設 n=101	8	127	135
	5.9%	94.1%	100%
訪問看護ステーション n=118	8	109	117
	6.8%	93.2%	100%
合計 n=642	701.5	1015.2	1716.7
	40.9%	59.1%	100%

4) 令和3年度の退職状況について

(1) 令和3年度の施設別退職状況と離職率

- 施設別で最も離職率が高かったのは、介護老人福祉施設で18.9%で、特に60代の退職者数が多かった。次に多かったのは、訪問看護ステーション12.0%で40～50代の退職が多く、病院(200～399床)が10.6%、病院(199床以下)10.1%の順であり、これらの施設では離職率が10%を超える結果であった。
- 病院では20～30代の退職が多く、全体の退職者数でも20～30代が半数以上を占めた。

	在籍数(人)	退職者数(人)						合計	離職率
		20代	30代	40代	50代	60代			
病院(199床以下) n=54	4414.5	111	98	66	58	112.8	445.8	10.1%	
病院(200～399床) n=29	4949.9	154	145.8	116.5	37	72.8	526.1	10.6%	
病院(400床以上) n=11	4890.8	169	82	41	39	48	379	7.7%	
診療所 n=305	1091.2	10.2	21	23	25	23	102.2	9.4%	
介護老人保健施設 n=24	297.1	3	3	8	7	5	26	8.8%	
介護老人福祉施設 n=101	568.5	8	15	12.9	26	45.3	107.2	18.9%	
訪問看護ステーション n=118	701.7	8	13	27	23	13	84	12.0%	
合計 n=642	16913.7	463.2	377.8	294.4	215	319.9	1670.3	9.9%	
		27.7%	22.6%	17.6%	12.9%	19.2%	100%		

(2) 令和3年度退職者の退職理由※上位5位(複数回答・n=退職があったと回答した施設のみ)

- 病院、診療所、介護施設では、退職理由の1位は「転職(他施設・他分野への興味)」であった。転職を除くと、病院では「定年」が多く、診療所では「健康上の理由(身体面)」、介護施設では「人間関係」が上位であった。
- 訪問看護ステーションでは「健康上の理由(身体面)」が退職理由1位であった。

【病院 n=93】

	退職理由	割合
1位	転職(他施設・他分野への興味)	84.3%
2位	定年	68.1%
3位	転居	61.1%
4位	健康上の理由(身体面)	58.1%
5位	結婚	48.0%

【診療所 n=82】

	退職理由	割合
1位	転職(他施設・他分野への興味)	24.4%
2位	健康上の理由(身体面)	15.9%
3位	定年	14.6%
4位	転居	13.4%
4位	介護	13.4%

【介護施設 n=75】

	退職理由	割合
1位	転職(他施設・他分野への興味)	24.0%
2位	人間関係	22.7%
3位	転居	20.0%
3位	定年	20.0%
5位	健康上の理由(身体面)	18.7%

【訪問看護ステーション n=57】

	退職理由	割合
1位	健康上の理由(身体面)	22.8%
2位	健康上の理由(精神面)	19.3%
3位	転居	17.5%
4位	転職(他施設・他分野への興味)	15.8%
4位	自身の適性や能力の不安	15.8%

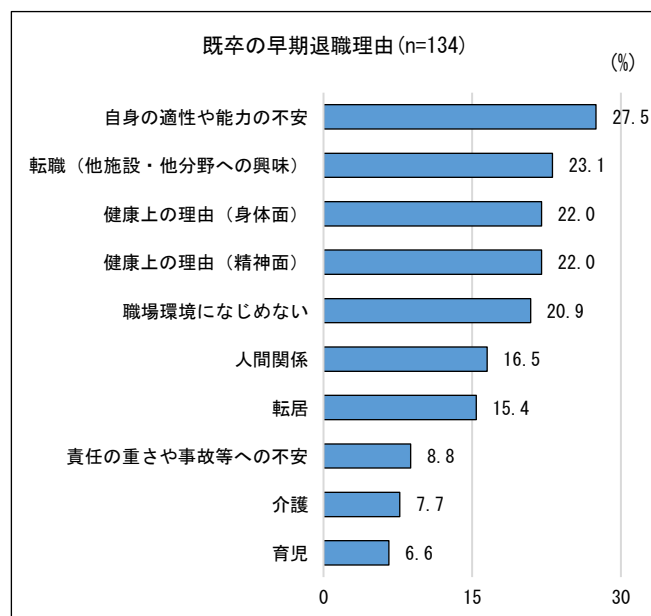
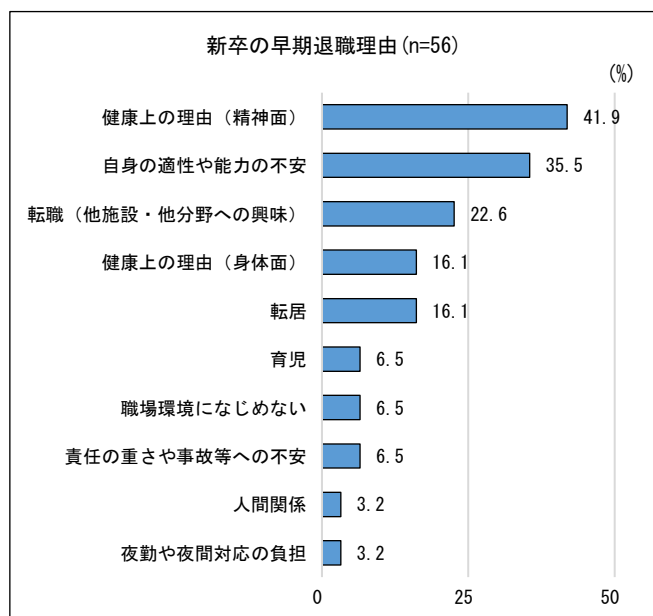
(3) 令和3年度採用者の採用年度内の早期退職状況(施設別)

- ・新卒採用者の早期退職について、離職率が最も高かったのは訪問看護ステーションで37.5%、次いで診療所15.4%、介護老人福祉施設12.5%であった。新卒の早期離職率の平均は8.0%であった。
- ・新卒の早期退職者数が最も多かったのは、病院(400床以上)22人であり、新卒早期退職者数の約4割を占めた。
- ・既卒採用者の早期退職では、離職率が最も高かったのは介護老人保健施設22.2%であった。次いで介護老人福祉施設17.3%、病院(200~399床)が16.7%であった。既卒の早期離職率の平均は13.2%であった。
- ・既卒の早期退職者数が最も多かったのは、病院(200~399床)34.8人であった。

	新卒の採用者数	新卒早期退職者数	離職率	既卒の採用者数	既卒早期退職者数	離職率	採用者数合計	退職者数合計	離職率合計
病院(199床以下) n=54	167	11	6.6%	270.6	27	10.0%	437.6	38	8.7%
病院(200~399床) n=29	239	16	6.7%	208.6	34.8	16.7%	447.6	50.8	11.3%
病院(400床以上) n=11	260	22	8.5%	137	9	6.6%	397	31	7.8%
診療所 n=305	19.5	3	15.4%	127	17.2	13.5%	146.5	20.2	13.8%
介護老人保健施設 n=24	0	0	0%	36	8	22.2%	36	8	22.2%
介護老人福祉施設 n=101	8	1	12.5%	127	22	17.3%	135	23	17.0%
訪問看護ステーション n=118	8	3	37.5%	109	16	14.7%	117	19	16.2%
合計 n=642	701.5	56	8.0%	1015.2	134	13.2%	1716.7	190	11.1%

(4) 令和3年度早期退職者の退職理由※上位10位(複数回答)

- ・新卒の早期退職理由では、「健康上の理由(精神面)」が最も多く41.9%、次いで「自身の適性や能力の不安」35.5%、「転職(他施設・他分野への興味)」22.6%、「健康上の理由(身体面)」16.1%、「転居」16.1%であった。
- ・既卒の早期退職理由では、「自身の適性や能力の不安」が27.5%と最も多く、次いで「転職(他施設・他分野への興味)」23.1%、「健康上の理由(身体面)」22.0%、「健康上の理由(精神面)」22.0%、「職場環境になじめない」20.9%の順であった。



5) 看護職員の仕事上の悩みや不安に対し、誰がどのように対応していますか

- ・看護職員の仕事上の悩みや不安に対しては、「看護管理者または看護系の上司」が対応すると回答した施設が最も多く 42.8%、次に「看護系以外の管理者」が 37.7%で診療所からの回答が多かった。
- ・対応では、「面接・面談」が最も多く 30.7%、「都度相談できるようにしている」が 18.2%であった。

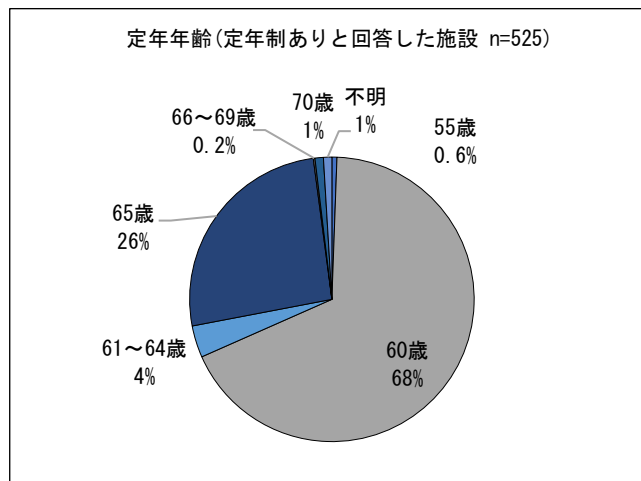
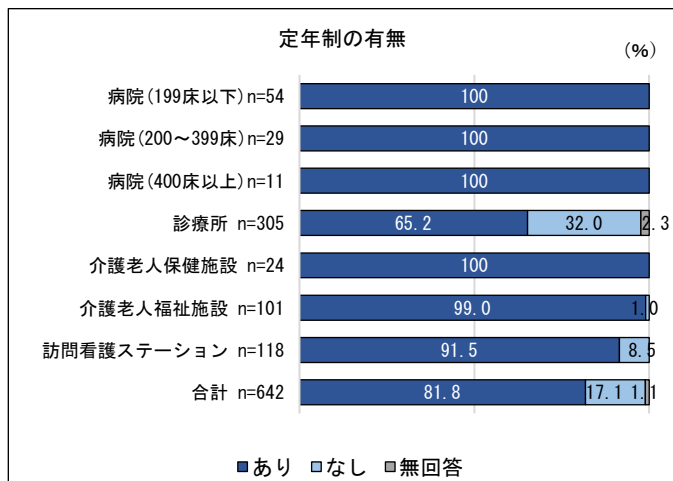
誰が	件数	割合
看護管理者または看護系の上司	275	42.8%
看護系以外の管理者	242	37.7%
同僚	55	8.6%
先輩	53	8.3%
メンタルヘルス専門部署・職員	37	5.8%
人事担当	15	2.3%

どのように	件数	割合
面接・面談	197	30.7%
都度相談できるようにしている	117	18.2%
都度声掛け	29	4.5%
相談窓口の設置	36	5.6%
何もしていない	15	2.3%
会議	11	1.7%
調査	9	1.4%
師長会での対応	8	1.2%
その他	54	8.4%

6) 定年制および再雇用制度について

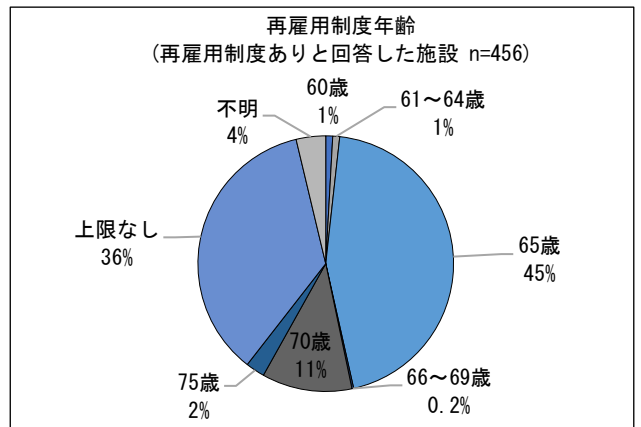
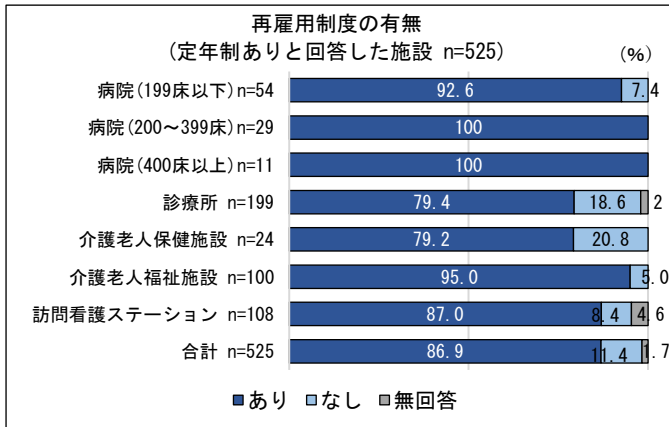
(1) 定年制の有無

- ・定年制のある施設は全体で 642 施設中 525 施設 (81.8%) であった。
- ・病院、介護老人保健施設では 100%であった。介護老人福祉施設、訪問看護ステーションでも 9 割以上が定年制ありと回答したが、診療所では 305 施設中 99 施設 (32.5%) が定年制なしと回答した。
- ・定年制を定めている場合の定年年齢では、60 歳が最も多く全体の 67.9%、次いで 65 歳が 25.9%であった。



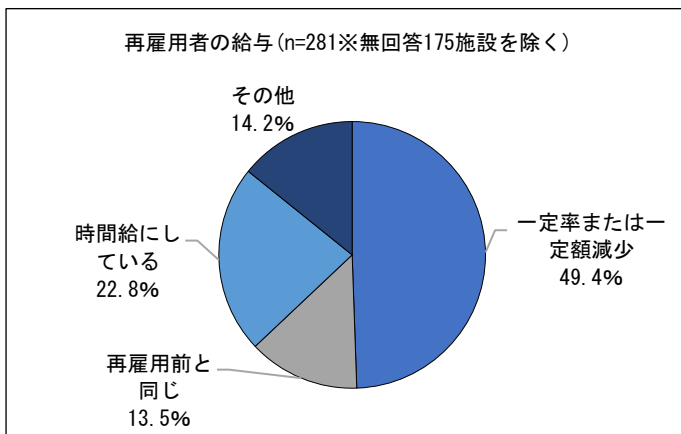
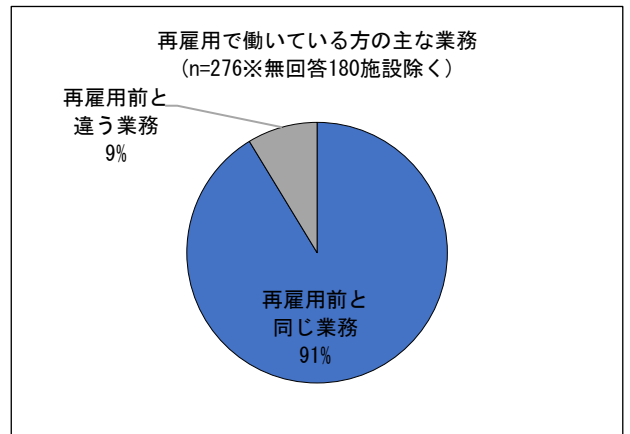
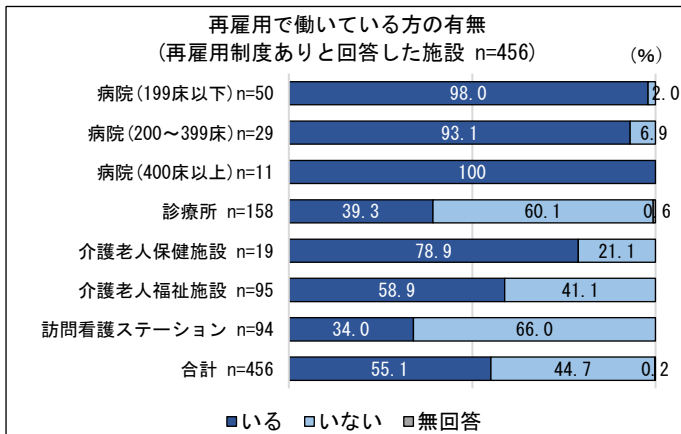
(2) 再雇用制度について（定年制「あり」と回答した施設 525 施設）

- ・定年制ありと回答した施設のうち、再雇用制度のある施設は全体で 525 施設中 456 施設（86.9%）であった。病院（200～399床）、病院（400床以上）では100%であった。
- ・再雇用制度の上限年齢について、最も多かったのは65歳で456施設中204施設（45%）であった。次いで多かったのは、上限なし163施設（36%）であった。



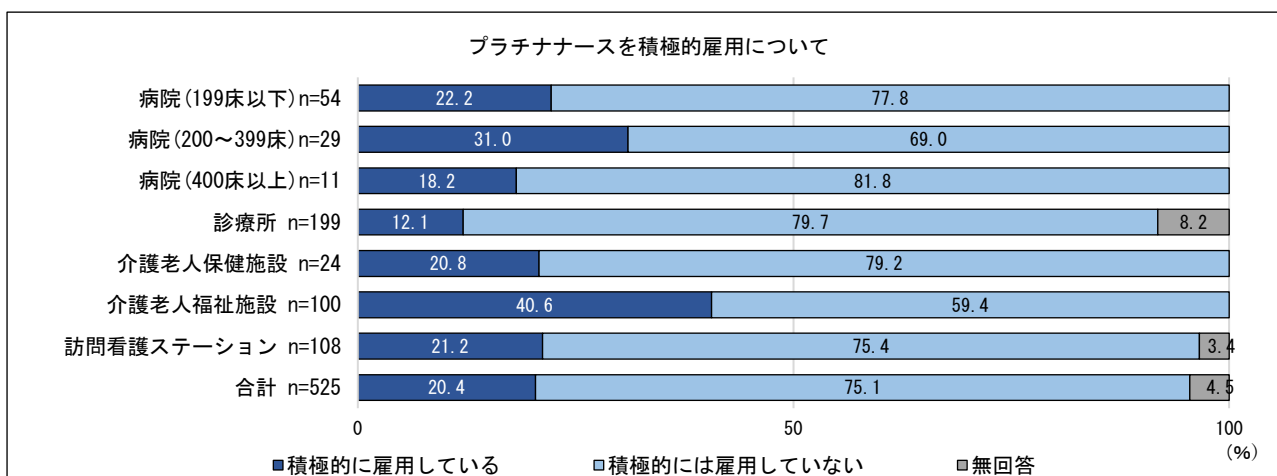
(3) 再雇用制度による雇用状況（再雇用制度「あり」と回答した施設）

- ・再雇用制度で働いている方の有無について、病院では9割以上、介護老人保健施設では約8割、介護老人福祉施設では約6割の施設で再雇用者がいると回答した。
- ・診療所、訪問看護ステーションでは、再雇用者がいると回答した施設は30%台であった。
- ・再雇用で働いている方の業務については、無回答施設を除くと、「再雇用前と同じ業務をしている」と回答した施設が9割以上であった。
- ・再雇用者の給与については、無回答施設を除くと「一定率または一定額減少」が49.4%で最も多かった。



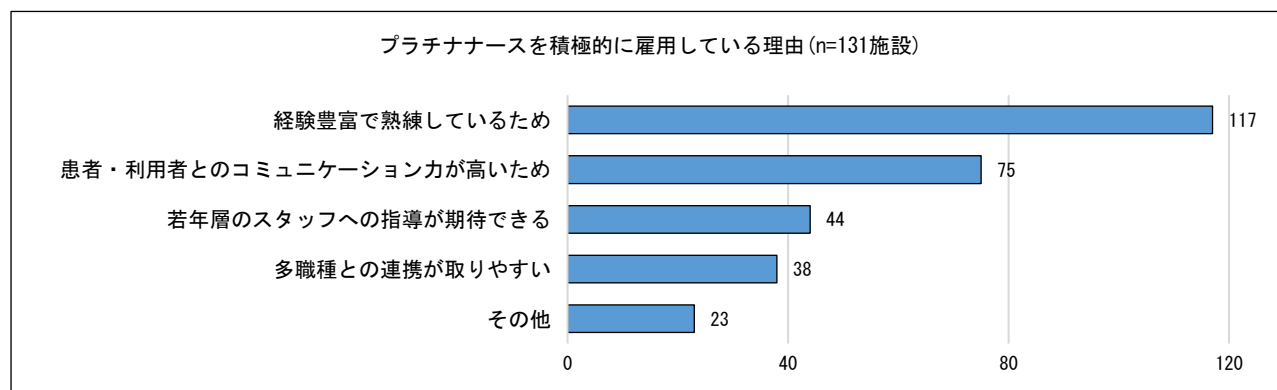
(4) プラチナナース（定年前後の看護職）の積極的新規雇用について

- ・プラチナナースの新規雇用について、「積極的に雇用している」と回答したのは 642 施設中 131 施設（20.4%）で、7 割以上の施設が「積極的には雇用をしていない」と回答した。
- ・施設別でみると、「積極的に雇用している」と回答した割合が一番高かったのは介護老人福祉施設で、101 施設中 41 施設（40.6%）、最も低かったのは診療所で 305 施設中 37 施設（12.1%）であった。



(5) プラチナナースを積極的に新規雇用している理由

- ・積極的に新規雇用していると回答した施設へ理由を聞いたところ、最も多かったのは「経験豊富で熟練しているため」が 131 施設中 117 施設（89.3%）であった。次に「患者・利用者とのコミュニケーション力が高いため」75 施設（57.3%）であった。
- ・その他意見では、「人材不足」や「若年層の看護職確保が困難なため」との回答が多かった。



7) 中途採用者に対する指導体制について（複数回答）

- ・中途採用者の指導体制で当てはまるものについて、最も多かったのは「本人の能力・ペースに合わせた指導を行っている」458 施設（71.3%）であった。続いて「丁寧な指導を心がけている」342 施設（53.3%）、「一人立ちするまで指導者をつけている」315 施設（49.1%）の順であった。

順位	項目	施設数	割合
1位	本人の能力・ペースに合わせた指導を行っている	458	71.3%
2位	丁寧な指導を心がけている	342	53.3%
3位	一人立ちするまで指導者をつけている	315	49.1%
4位	定期的に面談を設け、不安や悩みに対しフォローしている	272	42.4%
5位	自施設の教育プログラムに基づき指導している	184	28.0%

8) 確保・定着について

(1) 確保・定着のために実施しているもの（複数回答）

- ・病院では、「外部研修の参加支援・費用補助」が最も多く 70.2%であった。病院以外の施設では「有給休暇の取得しやすさ」が最も多かったが、病院でも 6 割以上の施設で確保・定着のために実施していると回答した。病院では、確保・定着のために実施している取組が他施設に比べ多い。
- ・「多様な勤務形態の導入」、「既存業務の整理・見直し」は、どの施設でも上位であった。診療所では、「給与・手当の増額」も上位であった。

【病院】

【診療所】

順位	項目	施設数	順位	項目	施設数
1位	外部研修の参加支援・費用補助	70.2%	1位	有給休暇の取得しやすさ	59.3%
2位	既存業務の整理・見直し・業務改善	67.0%	2位	給与・手当の増額	38.0%
3位	多様な勤務体制の導入	64.9%	3位	休暇制度の充実	33.4%
4位	有給休暇の取得しやすさ	61.7%	4位	多様な勤務体制の導入	29.2%
4位	能力に見合った部署への配置・役割分担	61.7%	5位	福利厚生 の 充実	23.3%

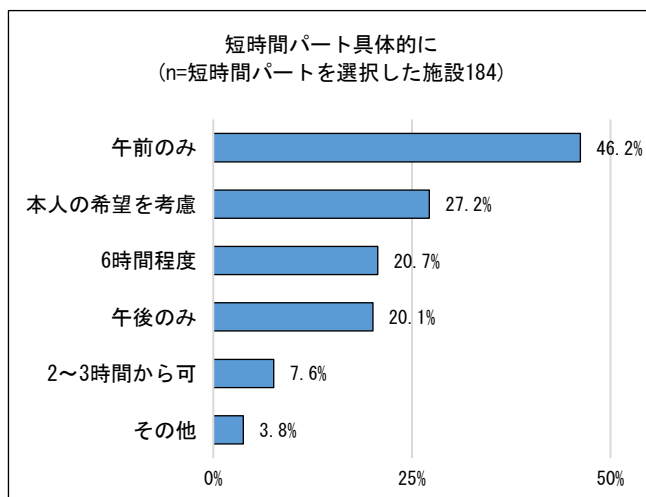
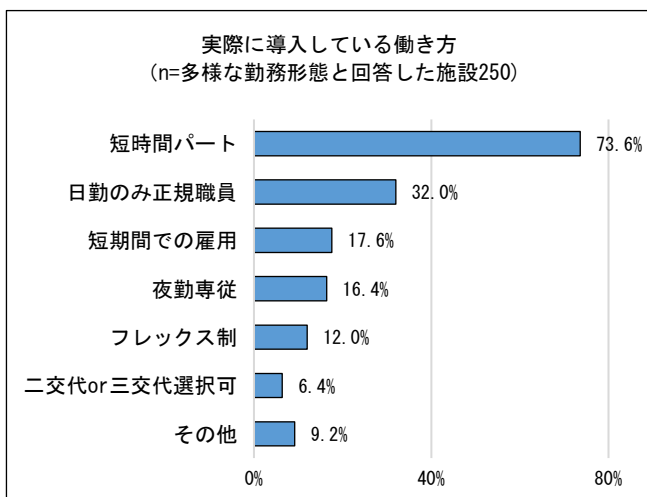
【介護施設】

【訪問看護ステーション】

順位	項目	施設数	順位	項目	施設数
1位	有給休暇の取得しやすさ	65.6%	1位	有給休暇の取得しやすさ	67.8%
2位	多様な勤務体制の導入	46.4%	2位	外部研修の参加支援・費用補助	49.2%
3位	既存業務の整理・見直し・業務改善	44.8%	3位	既存業務の整理・見直し・業務改善	39.0%
4位	休暇制度の充実	39.2%	4位	多様な勤務体制の導入	35.6%
5位	施設内研修の充実	34.4%	5位	休暇制度の充実	30.5%

(2) 1) で「多様な勤務形態の導入」と回答した施設へ、具体的にどのような働き方があるか

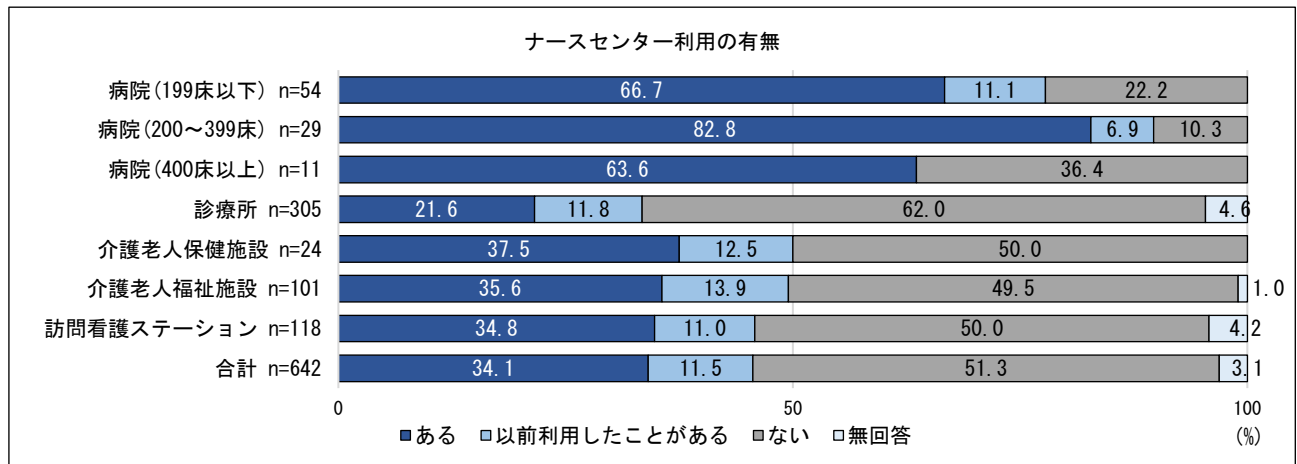
- ・多様な勤務形態について、最も多かったのは「短時間パート」73.6%、次に「日勤のみ正規職員」32.0%、「短期間での雇用」17.6%であった。また、短時間パートの働き方について、最も多かったのは「午前のみ」が 46.2%、「本人の希望を考慮」27.2%、「6 時間程度」が 20.7%であった。



8) ナースセンターについて

(1) ナースセンターに求人登録したことがありますか

- ・ナースセンターへの求人登録について、病院では6～8割が「登録がある」と回答した。介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問看護ステーションでも約半数が、「登録がある」または「以前利用したことがある」と回答した。
- ・最も少なかったのは診療所で21.6%であった。



(2) ナースセンターの利用についてどのように思いますか (複数回答)

- ・ナースセンターの利用について、Good 意見では「無料で利用できるのがよい」41.3%が最も多く、次いで「今後利用してみたい」18.4%、「条件にあった求職者を紹介してもらえる」17.3%であった。
- ・Bad 意見では「利用の予定はない」20.1%、「登録してもなかなか紹介してもらえない」15.1%、「広告や周知が足りない」6.1%であった。

【Good 意見】

順位	項目	割合
1位	無料で利用できるのがよい	41.3%
2位	今後利用してみたい	18.4%
3位	条件に合った求職者を紹介してもらえる	17.3%
4位	求人の相談や求職者の動向について情報交換ができる	10.6%
5位	迅速に求職者を確保することができる	7.9%

【Bad 意見】

順位	項目	割合
1位	利用の予定はない	20.1%
2位	登録してもなかなか紹介してもらえない	15.1%
3位	広告や周知が足りない	6.1%
4位	登録手続きが煩雑で面倒	4.7%
5位	能力の高い人材を紹介してもらえない	1.9%

(3) 貴施設が求人する際のPRポイント（上位5つ）

- ・求人する際のPRポイントを上位5つまで挙げてもらったところ、病院では、「教育研修体制の充実」52.1%が最も多く、診療所・介護施設では「残業が少ない」、訪問看護ステーションでは「人間関係が良い」66.1%であった。

【病院】

	項目	施設数	割合
1位	教育研修体制の充実	49	52.1%
2位	休暇が取りやすい	48	51.1%
3位	人間関係が良い	46	48.9%
4位	残業が少ない	45	47.9%
5位	ブランク・中途の積極的雇用	32	34.0%

【診療所】

	項目	施設数	割合
1位	残業が少ない	157	51.5%
2位	人間関係が良い	156	51.1%
3位	休暇が取りやすい	145	47.5%
4位	離職が少ない	110	36.1%
5位	ブランク・中途の積極的雇用	46	15.1%

【介護施設】

	項目	施設数	割合
1位	残業が少ない	67	53.6%
2位	休暇がとりやすい	64	51.2%
3位	人間関係が良い	52	41.6%
4位	ブランク・中途の積極的雇用	50	40.0%
5位	60歳以上歓迎	45	36.0%

【訪問看護】

	項目	施設数	割合
1位	人間関係が良い	78	66.1%
2位	休暇が取りやすい	56	47.5%
3位	残業が少ない	48	40.7%
4位	離職が少ない	39	33.1%
5位	ブランク・中途の積極的雇用	29	24.6%